



## 「じっくり考える時間を大切に」

校長 小寺 恵理子

日差しが眩しさを増してきました。朝、登校指導を終えて職員室に向かうとき、教室にランドセルを置いた子供たちが水やりをしている姿を多く見かけます。1年生から3年生の子供たちは一人一鉢ずつアサガオやホウセンカ、野菜などを育てています。子供たちが世話をしやすいようベランダに鉢を出している学年も多いようです。子供たちは、鉢に水やりをしながら、「先生、こんなに大きくなったよ。」「芽が出たよ。」ととても嬉しそうな顔で教えてくれます。5年生は今年もバケツ稲にチャレンジします。作物の出来は気温や雨に大きく左右されます。お米が大変な手間と労力をかけてできるということを実際に育てて学ぶことは、とても重要なことだと思います。

虫に興味のある子も多く、「ダンゴムシがたくさんいるよ。」「レモンの木にイモムシがいたよ。」「それは、アゲハチョウになるんだよ。」と友達と話をしながら学びを深めています。「同じ日に植えたのに、どうして僕のは大きくならないのかな。」「元気がないのは水やりを忘れちゃったからかな。」子供たちの「なぜだろう、どうしてだろう。」という疑問が学習に主体的に取り組み、学ぶ意欲を高め、「こうすればいいのかな、やってみたらうまくいったぞ。」という経験が知識を増やし、達成感を味わい子供たち一人ひとりの自信となっていきます。植物や昆虫の育ちは本やインターネットでも学べますが、実際に育てることで、学ぶ意欲と豊かな心を育てていきます。学校では1年生と2年生は生活科で、3年生～6年生は主に総合的な学習の時間で体験活動を多く行い、じっくり考える時間、活動する時間を大切にして、子供たちの豊かな心を育てていく取り組みを進めてまいります。

5月22日(水)23日(木)には、6年生が修学旅行に行ってきました。戦場ヶ原ではハイキングを行い、シカなどに幹の皮を食べられて立ち枯れた木を実際に見て、自然の厳しさを学びました。また、友達と寝食を共にする中で、普段の学校生活では見られない新たな友達の一面を見つけられたことと思います。

今年は、6年生の修学旅行中に5年生の保護者を対象にした給食試食会を行いました。コロナ禍で現在の5年生の保護者から給食試食会が実施できていませんでした。秋には4年生保護者を対象に開催する予定です。学校給食は毎月市内の栄養士が知恵を集めて、栄養バランスを考えた献立を作成しています。また、季節に応じた献立や郷土食、世界の国々の料理を取り入れて、献立内容を工夫しています。食の安全に気を付けて作ることはもちろんのこと、トウモロコシの皮むき等を子供たちに体験させるなど食育にも力を入れています。食に関する興味や知識を高めて、丈夫なからだを作ってほしいと思います。

6月8日(土)は、学校公開日となっています。2校時と3校時が授業公開となっておりますのでぜひご来校いただき、ご家庭でも子供たちの頑張りを話題にしてたくさん褒めていただければと思います。保護者の方の声掛けが、子供たちがよりよく成長するきっかけとなります。どうぞよろしく申し上げます。